

平成25年度 第3回 経営協議会議事概要

日 時 平成25年9月24日（火）13:30～14:57

場 所 特別会議室

出席者 別紙のとおり

本学の活動状況について

学長から、議事に先立ち、前回会議以降の「本学の活動状況」について、資料に基づき、報告があった。

議 題

1. 平成25年度目的積立金の使用計画について （議題1の別紙）

理事（総務・財務担当）から、平成25年3月15日付けで文部科学大臣に承認されていた目的積立金を、学生センターエレベーター、附属幼稚園園具・遊具等の整備及び附属幼稚園非常用門扉の設置の3件に使用することについて、資料に基づき説明があった。

審議の結果、了承し、役員会へ付議することとした。

2. 経営協議会（学外委員）からの意見等に対する取組状況について （議題2の別紙）

学長、担当理事及び副学長から、平成24年度第3回から平成25年度第2回本会議における学外委員からの意見等に対する本学の取組状況について、資料に基づき説明があった。

外部委員から、学生インターンシップに関連し、学校教員は社会にうとい傾向にあるように感じているので、教員となる学生の就業体験の場を学校だけでなく民間企業に広げることも考えてもらいたい旨、意見があった。

審議の結果、了承した。

報告事項

1. 平成26年度概算要求について （報告事項1の資料）

理事（総務・財務担当）から、文部科学省の平成26年度概算要求主要事項と傾向について、資料に基づき報告があった。

2. 国立大学法人等の役職員の給与等の水準（平成24年度）について （報告事項2の資料）

理事（総務・財務担当）から、平成24年度の国立大学法人等の役職員の給与等の水準が文部科学省から公表されたことについて、資料に基づき報告があった。

3. 平成24年度監事監査結果報告書（平成25年3月22日）への回答について

（報告事項3の資料）

学長から、平成24年度監事監査結果報告書で是正又は改善すべき事項等として指摘されていたことへの対応方針を7月12日に監事に回答し、具体的な行程表（ロードマップ）を作成して改善を図っていることについて、資料に基づき報告があった。

教員の勤務評価・人事考課については、教育研究評議会に設けたワーキンググループで素案を検討中であり、平成25年度12月からの実施を目指している旨、報告があった。

外部委員から、これらの回答内容の学内周知について質問があり、学長から、学内電子掲示板を通じて全教職員に周知している旨、説明があった。

【意見交換】

1. ミッションの再定義と本学の将来の方向性について

（意見交換1の資料）

学長から、7月に文部科学省へ提出した「ミッションの再定義」、及び「大学改革推進のための部局長等懇談会」を設置して学内審議のための素案策定を進めていることについて、資料に基づき説明があり、ミッションの再定義を踏まえた、本学の将来の方向性について、意見交換が行われた。

学外委員から、以下のような意見等があった。

- ・ミッションの再定義についても、本学の部局長等懇談会の設置に関する資料についても、もっと外部の人間に分かりやすい、例えばモンスターペアレントなどの学校現場が抱える諸問題は重要な研究課題でもあると思うが、それらにどのように取り組むのか等、具体性のあることを記載していただきたい。
- ・大学が少子高齢化社会の中で生き残るために必要なのは、ブランド力である。ブランド力の向上のためには、長い時間と地道で愚直で徹底的に一つの考え方に沿ったぶれない姿勢、ユニークさ、情報発信力が必要である。
- ・具体的には、まずは優秀な学生を確保し、特色ある教育を行い、質の高い教員を養成できれば、社会的評価が上がっていく。そして、地域貢献活動、社会連携活動などを一つの考え方に沿って続けることで、教員養成の広域ブロックの拠点であるというブランド力がついていく。
- ・教育の改善や質を上げていく取組と共に、社会が自分達をどう見ているのかを常に意識し、議論してもらいたい。
- ・情報の発信を、統一的な戦略を基に行うのが大切である。本学が行った西日本新聞社の社長と学長の対談記事などは、大変有益な取り組みである。できるだけ資金をかけないで、あらゆる機会・メディアを捉えて地域や広く九州、社会に向かって情報を発信していくべき。
- ・就職率がよいというのが、一番意義がある広報材料である。
- ・文章について言えば、日本語は修飾語が多く曖昧な表現が多い、目的・プロセスをはっきりさせて、短い言葉で表現する工夫をしていただきたい。
- ・大学教育の目的には、優秀な教員という前に「人間を養成する」場であるということ、是非入れていただきたい。

学長から、ミッションの再定義の文章については、文部科学省のひな形に準拠して記載しており、致し方ないところがあるが、ご指摘のとおり、これだけでは本学がどのような理由で、何をどのように取り組むのかわからないので、部局長等懇談会で検討し、具体的に見える形にしていきたいと考えている旨、説明があった。

その他

1. 次回の開催日程について

次回の会議を、平成25年11月26日（火）13：30から、事務局特別会議室で開催することとした。

説明資料等

- | | |
|--------------|--|
| 議題 1 の別紙 | <ul style="list-style-type: none">・平成 2 5 年度における目的積立金の取扱いについて（案）・国立大学法人等における余剰金の翌年度への繰越に係る承認について |
| 議題 2 の別紙 | <ul style="list-style-type: none">・経営協議会学外委員からの意見等に対する取り組み状況 |
| 報告事項 1 の資料 | <ul style="list-style-type: none">・平成 2 6 年度国立大学運営費交付金自己点検・評価実施要項概算要求のポイント・平成 2 6 年度国立大学法人運営費交付金概算要求の構成・平成 2 6 年度国立大学法人運営費交付金概算要求の概要・本学に関する平成 2 6 年度概算要求の概要 |
| 報告事項 2 の資料 | <ul style="list-style-type: none">・国立大学法人福岡教育大学の役員の報酬等及び職員の給与水準の公表（平成24 年度）について・国立大学法人福岡教育大学の役員の報酬等及び職員の給与水準の公表（平成24 年度） |
| 報告事項 3 の資料 | <ul style="list-style-type: none">・平成 2 4 年度監事監査結果報告書（平成 2 5 年 3 月 2 2 日）への回答 |
| 意見交換 1 の資料 1 | <ul style="list-style-type: none">・ミッションの再定義本文（7 月提出分）・「ミッションの再定義」将来の改革の方向性説明資料 |
| 意見交換 1 の資料 2 | <ul style="list-style-type: none">・「大学改革推進のための部局長等懇談会」の設置について |